

第1学年2組 社会科学学習指導案

指導者 主幹教師 諭
講師 山田 恭大
読書指導員 庄司 志遠
和田 幸子

山田 恭大
庄司 志遠
和田 幸子

1 単元名 都道府県の調査 (視点を決めて都道府県を調べよう)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、新学習指導要領の地理的分野の目標(2)、(3)、(4)を踏まえて、内容(2)との関連で設定されたものである。学区域を中心とした「身近な地域」の学習よりさらに視野を広げた「都道府県」を扱う。本単元のねらいは、「47都道府県の中から幾つかの都道府県を取り上げ、地理的事象を見いだして追究し、地域的特色を捉えさせるとともに、都道府県規模の地域的特色をとらえる視点や方法を身に付けさせる」である。

具体的な学習内容としては、都道府県について多面的に調べるテーマを決めて調べる比較や関連の視点から調べる、という大きく三つの視点で「調べ学習」を中心に進めていく。

平成18年度から平成21年度までの千葉県標準学力検査の結果をみると、地理的な知識の理解、図表からグラフから読み取ったことをもとに、自分の考えを表現する力を高める指導の充実、統計資料をもとに、調べたり考えたりしたことをまとめ、表現させる指導の工夫が社会科指導の重要課題として指摘されている。更に移行期に入った新学習指導要領では、思考力・判断力・表現力等の充実、読解力や記述式問題に、知識・技能を活用して解く力を求めている。これらのことから、生徒たちは自分自身の課題を追究していく力が必要であり、そのためには思考する力を身に付けさせていかなければならないと考える。

本単元との関連では、小学校5年生で「わたしたちの国土と環境」の学習で日本の地域的特色について触れている。また、47都道府県の名称と位置についても5年生時の学習である程度身についている。さらに、本単元は、2年生での「世界の国々の調査」の学習に繋がっている。

(2) 生徒の実態

本学級は、男子16名、女子15名の計31名で構成されている。全体的に落ち着いた雰囲気の中にも明るく活発な要素も持っており、教師の問いかけに対する反応も概ね良好である。また、学習に対してまじめな生徒も多く、提示した課題については多くの生徒が一生懸命に取り組む姿勢がみられる。

しかしながら、4月当初の調査(挙手)によると社会科を苦手に行っている生徒が7割程度おり、前述したように提示した課題に対しての取り組みは良好である一方で、自ら課題を設定し追究していくような課題追究型の学習形態においては、課題を設定する場面ですまじたり、必要な資料や情報を収集・分析・考察していく過程で支援の必要な生徒が多い。そのため、本単元では、そうした生徒に対して基礎・基本の徹底を図りながら学習活動を計画し展開させる必要がある。

社会科の事前アンケート調査から 回答者 31名 調査日 平成22年10月7日(木)

地理は好きですか。

好き(10人) まあまあ好き(6人) 普通(11人) あまり好きではない(4人) 嫌い(0人)

ア「好き」の理由

- ・世界の国々について知ることができる。(8人)
- ・授業が楽しい。(5人)
- ・勉強している所に行ってみたくなる。(2人)
- ・ノートがまとめやすい。(1人)

イ「嫌い」の理由

- ・覚えることが大変(3人)
- ・ややこしい。(1人)

授業への取り組みはどうですか。

意欲的(8人) まあまあ意欲的(13人) ふつう(8人) あまり意欲的ではない(2人)

意欲的でない(0人)

都道府県の学習は好きですか。

好き(9人) まあまあ好き(9人) 普通(12人) あまり好きではない(1人) 嫌い(0人)

「好き」の理由

- ・都道府県のことわかる。(7人)
- ・覚えると達成感を感じる。(4人)
- ・ふだんの生活に役立つ。(4人)
- ・調べることが好き。(3人)

調べ学習は好きですか。

好き(10人) まあまあ好き(7人) 普通(6人) あまり好きではない(6人) 嫌い(2人)

ア「好き」の理由

- ・調べてわかるから楽しい。(9人)
- ・自分の考えで進められる。(5人)
- ・自分で調べると達成感がある。(3人)

イ「嫌い」の理由

- ・まとめ方がわからない。(4人)
- ・調べることが面倒。(3人)

上記の結果から、地理的分野の学習については当初に比べ、少しずつではあるが興味や関心が高まっている。特に、都道府県の学習については「あまり好きではない」は1名、「嫌い」と答えた生徒は0名になっており、全体的として授業も意欲的に取り組んでいる。

調べ学習については、好きと答えた生徒が多い反面、嫌いと答えている生徒も多い。このことから、本単元の学習を進めるにあたっては読書指導員にも協力していただき、調べ学習の意義を十分に指導し、興味・関心が高まる資料を用意する必要がある。さらに、テーマを設定するために必要な資料を提示した上で課題設定、課題追究の学習活動を展開していくことで、生徒は積極的に学習に取り組んでいくものと思われる。

(3) 指導観

本単元の学習にあたって、小・中学校の社会科の共通のねらいである「民主的、平和的な国家、社会の形成者として必要な公民的資質を養う」ことを絶えず念頭に置いて指導していきたい。そのためには、諸課題に対して主体的に関わり、判断し行動できる態度と能力を生徒に養うことが何よりも大切であるとする。さらに、本単元での自分でテーマを決め、そのテーマに沿って調べていく学習を通して、自己の課題に向かって追究する生徒を育てていきたい。

また、社会の現状を見ると科学技術が高度に発展し、国際化・情報化が急速に進んでいる一方で、環境問題、少子高齢化等様々な問題が生じている。これら急激な変化を踏まえた新しい教育の在り方が今、問われていると思う。私たちの使命は、高度に発達した現代社会の中で、たくましく生き抜いていける人間を育てていくことだと考える。時代の変化や問題に主体的に対応できる資質や能力こそ、生き生きと追究する生徒の姿から生まれてくるものではないかと考える。

このように、社会科の目標、社会の現状から私たちに求められることは、いかに社会が急激に変化しても連綿として続いてきた我が国の歴史から未来を考える子どもたちを育成していくことではないかと思う。そのためには、学んできたことを繋げながら自分なりの考えを求めていくことが大切になってくる。習得しなければならない知識はもちろんであるが、探求型の学力を育てていかなければ社会科の目標、社会の現状に迫ることができないと考える。社会の形成者を育成していく上で、学びを追い求めていくこと、つまりは「生き生きと追究する子ども」の姿が必要不可欠である。この単元の学習を通して、これらの力を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 都道府県に関する地図や統計、インターネット、その他の資料を用いた調査に意欲的に取り組むことができる 【社会的事象への関心・意欲・態度】
- (2) 都道府県の地理的事象を見だし、それをもとにして、適切な課題を設定し、その課題を地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとのかかわりから、多面的・多角的に考察できる。 【社会的な思考・判断】
- (3) 地域的特色をとらえるために、地図・写真などを読み取り、インターネットの活用、統計のグラフ化や地図化などを通して、必要な情報を適切に選択して活用することができる。 【資料活用の技能・表現】
- (4) 地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとの関わりから捉えて地域的特色を理解し、その知識を身に付けることができる。 【社会的事象についての知識・理解】

4 指導計画(9時間扱い)

時配	題材名	評価規準
1	調べ学習の意義や方法	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習について教師や読書指導員の説明を意欲的に聞き、自分でテーマを決めて調べていく学習への興味・関心を高めている。(関心・意欲・態度) 調べ学習の意義や方法、調べる視点を理解することができる。(知識・理解)
2 3	調査の視点の具体例 (岩手、福岡、東京)	<ul style="list-style-type: none"> 調べる3つの視点の内容を理解しようとしている。(関心・意欲・態度) 調査の大きな3つの視点の内容を具体例を通して理解することができる。(知識・理解)
4 (本時)	調査テーマの設定と学習計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 情報を活用して調査テーマを選定しようとしている。(関心・意欲・態度) 様々な資料から、疑問や調べたい事柄をあげ、適切にテーマを設定することができる。(資料活用の技能・表現) 様々な方法や視点を持って、テーマを追究する計画を立てようとしている。(関心・意欲・態度) 仮説を立てながら、それを追究するための視点や方法を考えることができる。(思考・判断)
5 6 7	調査活動	<ul style="list-style-type: none"> 様々な方法を用いて、資料を収集しようとしている。(関心・意欲・態度) 文献やインターネットなど様々な方法で資料を収集し、必要な情報を選択し、整理することができる。(資料活用の技能・表現) 得られた資料をもとに、テーマからそれぞれの都道府県の地域的特色を考察することができる。(思考・判断) 地域的特色の背景にある、様々な条件を理解することができる。(知識・理解)
8	調査結果のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> これまでの調査結果をわかりやすくまとめようとしている。(関心・意欲・態度) 調査過程も含めて、考察した結果を工夫をしながらわかりやすく表現することができる。(思考・判断)
9	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考察したものを、他者にわかりやすく情報発信しようとしている。(関心・意欲・態度) 調べる視点やテーマにそった、都道府県の地域的特色をとらえることができる。(思考・判断)

5 本時の指導(4/9)

(1) 目標

- 教師の説明を聞き、様々な資料から調べるテーマを意欲的に決めようとしている。
【関心・意欲・態度】
- 疑問点や調べたいことをもとに、都道府県の特徴を捉える視点を踏まえて、テーマを設定することができる。
【思考・判断】
- 調べる視点やテーマにあった適切な文献や資料を選定することができる。
【資料活用の技能・表現】

(2) 研究テーマとの関わり

本単元での学習の大きな柱は、自分の興味や関心のある都道府県を自分で選択し、自分で調べる視点やテーマを決めて計画的に調べ学習を進めていくことにある。調べ学習は、自分の課題追究のために必要な資料等を探す力をつけたり、「考える、まとめる、

発表する」といった社会人になるための基礎作りの学習であると考え。まさに、本校の研究テーマである「主体的に活動できる生徒の育成～学び合う授業づくり・学級づくりを通して～」に迫るものであり、さらに「心豊かで、自ら学ぶ、逞しい生徒」という学校教育目標の具現化につながると考える。

(3)展開

・留意点 ○支援の手立て

評価の観点(方法)

学習過程 (時配)	学習内容と活動	指導上の留意点と支援の手だて	資料等
<p>導入 (5分)</p> <p>課題把握</p>	<p>本時の学習活動を確認する。 本時の学習の流れについて、教師や読書指導員の説明を聞く。</p>	<p>・本時の学習手順を理解させ、活動が円滑に行えるようにする。(T1、T3)</p>	<p>プリント レポート</p>
<p>展開 (25分)</p> <p>発展 (12分)</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">都道府県の情報をもとに、調べるテーマを設定しよう</p> <p>都道府県を調査するためのテーマを設定する。 テーマを設定するための資料を収集する。</p> <p>資料をもとに、疑問点や調べてみたいことをあげる。</p> <p>あげられた疑問や調べてみたい事柄をもとに、都道府県の特色を捉えるためのテーマを設定する。</p> <p>調査テーマを吟味する。 設定したテーマを分類し、吟味することによって調べやすいテーマにする。 テーマは大きく以下の視点に分類する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A 千葉県との比較 B 地域の中心 C 歴史 D 産業 E 国際交流 F その他</p> </div>	<p>その都道府県に行ってみたいと思えるようなテーマになるように助言する。 (T1、T2、T3)</p> <p>テーマにそった適切な資料が選定できるように援助をする (T1、T2、T3)</p> <p>設定に時間がかかる生徒にはテーマを例示して設定しやすいようにする。 資料を参照しながら、疑問点や調べたい内容を積極的にあげているか。(観察)</p> <p>・各視点ごとに調査の方向性や調査の助言をする。</p> <p>テーマを吟味しながら、より追究に適したテーマを考えることができたか。(机間指導) (T1、T2、T3)</p>	<p>文献 資料 インターネット</p>
<p>まとめ (8分)</p>	<p>学習活動の手順の確認をする。 設定したテーマをもとに、これからの学習計画を立てる手順を確認する。</p> <p>次時の学習活動を確認する。</p>	<p>・調査のねらいを踏まえて、都道府県の特色を捉えられるような計画を立てられるよう、その手順を理解させる。 学習計画を立てる手順が理解できたか。(挙手)</p> <p>・次時の活動を知らせ、調査活動への意欲を持たせる。</p>	<p>ワークシート</p>